

THEOインカム・ファンド(世界の債券中心)

元本確保型の商品ではありません

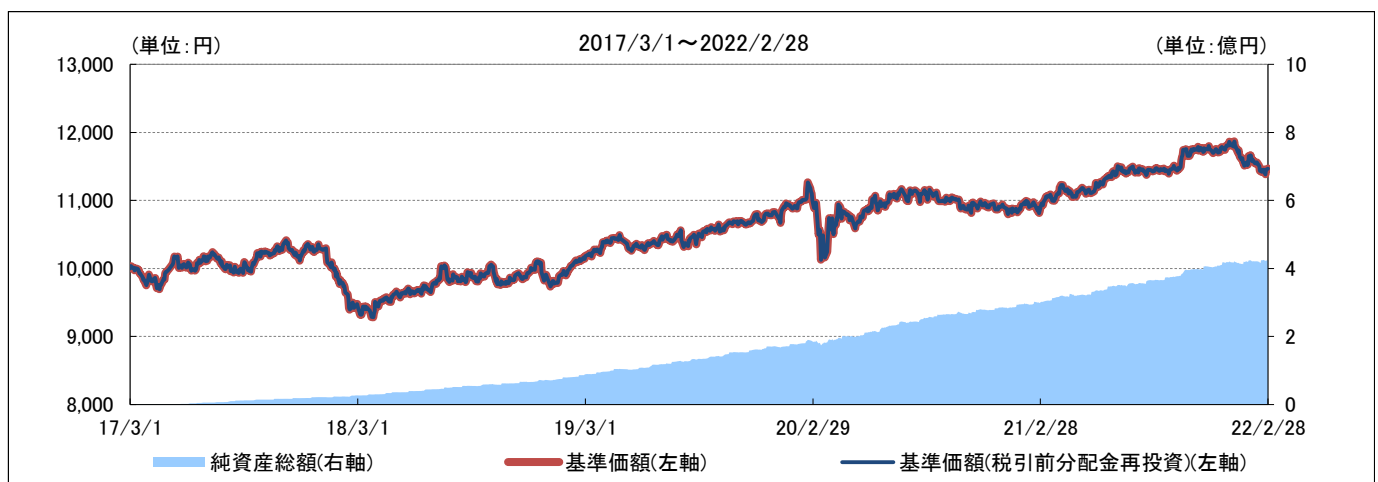
◆ファンドの特色

- ・主な投資対象： 債券を中心とするETFへ投資することで、イールド(裏付け資産からの利息等を主な原資にETFが生み出す)を重視し、世界各国の金利水準を享受し、安定的なリターンを目指す商品設計となっています。国債・社債などの債券や一部先進国や新興国のハイイールド債などが投資対象です。
- ・ベンチマーク： 当ファンドにはベンチマークがありません。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	11,470円
純資産総額	4.24億円

* 基準価額は、分配金控除後です。



- * 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります。
- * 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬は控除されております。
- * 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

◆ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

	過去1ヵ月間	過去3ヵ月間	過去6ヵ月間	過去1年間	過去3年間	過去5年間	過去10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-1.65%	-2.17%	0.03%	6.06%	4.18%	2.78%	—	2.78%
ファンドリスク(分配金再投資)				4.82%	3.96%	4.64%	—	4.64%

- * ファンド収益率(分配金再投資)とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。
- * 収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。
- * 収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算していません。
- * 過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

◆組入上位5銘柄 (組入れ銘柄数: 7銘柄)

銘柄名	ファンドウェイト
1 ISHARES MBS ETF	20.03%
2 ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	17.39%
3 ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	17.22%
4 ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	15.02%
5 SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	10.14%

* 比率はマザーファンドにおける純資産総額比です。

◆ファンドマネージャーのコメント

インカム・ポートフォリオは-1.7%の下落となりました。
欧米諸国を中心としたインフレと金融政策の正常化に向けた動きが注目される中、英国の中央銀行であるイングランド銀行が2会合連続での利上げを決定し、またECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁が年内の利上げの可能性を排除しない姿勢を示したことで、欧州諸国で国債利回りが上昇しました。米国では2022年1月の消費者物価指数(CPI)が前年同月比で+7.5%と約40年ぶりの高インフレ率となったことで10年国債利回りが2%を超える水準まで上昇しました。また、日本の10年国債利回りも2016年以来的水準まで上昇しました。その後、24日にロシアのプーチン大統領がウクライナへの軍事侵攻を発表したことにより、市場環境はリスク回避的となり、日米欧各国の国債利回りは月末にかけて低下し、クレジットリスクの高い債券については国債との利回り格差を拡大しました。
米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。月の前半はFRB(米連邦準備制度理事会)が金融引き締めを前倒しするとの見方を受けて米ドルは対円で上昇しましたが、後半はウクライナ情勢の緊迫化を受けて安全通貨とされる円に買いが入り、米ドルは対円で下落しました。

■当資料は、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、購入者に帰属します。■当資料は、株式会社お金のデザインが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。